			1 事務事業名 職員研修事務					<mark>細事務事業名</mark> 職員研修事務					<mark>公的関与</mark> 1 シート作成日 平成31年6月5日										
PLAZ	課名		1 - 2 - 1 - 1			<mark>レープ</mark> 人事 担当課長名					佐藤文彦 シート作成者名				富居利彦								
	車	事業区		○ 1 ソフト事業 ○ 3 整備署) 5 施設の管理			営	車業温	事業運営方法		直営		3 全	部委	託				
	*	未凸	71	○ 2 施設の		建設 ● 4 経常的		E常的	的事務事業					争未以		医舌刀压		☑ 2 一部委託		4 補	助等	,	
				政策目標 6 共につくる自立したや					たや	さとみ			実施計画			事業の開始・終了							
	総合計画		画	施策項目 自立した自治体経営の				推進			○ 1該当			年度 ~ 平成 年度 ☑ 期間設定な						なし			
				主要	施策	行財政改革の推進							● 2 ∄	該	当	+FI +hn						140	
	個別計画		画							•						根拠法令等地方公務員法、弥富市職員研修規程							
				対象(誰を・何を)						意図(と						ごういう状態にしたいのか)							
		事業 <i>0</i> 目的		一般職の職員				「弥富市職員人材育成基本方針」に定める必要な能力及び意識を、各職員が身につけた状態を目指します。															
	事業の 内容			·実施体制 ·実施場所	研修内容 1 階層別研修(8研修 51人) 2 専門研修(27研修 87人) 3 一般研修(7研修 355人) 4 派遣研修(1研修 1人) 合計 494人 実施体制 総務課職員 直営研修 企画、準備、実施 実施場所 愛知県自治研修所、開催担当市町村、その他 実施期間 各研修ごとに通年にわたり実施																		
		標	(指標名	<mark>旨標名</mark>								指標名										
	果 指 標			指標設 定の考 え方	識の育上を図	成へ つて	き加することで、個々の必 なへの動機付けをし、行政 ています。なお、受講後 理解度を測ります。			サービスの維	持向	単位	%	(0)	指標設 定の考 え方							単位	
			1	平成	29 年	度	平成	30 年度	3	平成 ※ 年度	目標	平成	30 年度	2	平成	29 年度	平成	30 年度	平月	た ※ 年度	₹ 目標 ³	平成	30 年度
				実績	89	11.	実 績	86	目	*	目		90		実績		実績		目	*	目		
				目 標	90		目 標	*	標	^	標		30		目標		目 標	*	標		標		
	予算費目			会 計				一般会計			款	2	総務費			-	総務管理	里費	目	2 人			
				平成 29			9	年度決算額		平成 30			30	年度決			平瓦	₹ %	年度				
	直接事	国・		是支出金	7					千円						千円						千円	
		爿		也方債						千円						千円							千円
DO		そ	· の他	特定財	源	3				千円							千円						千円
	業		_	般財源						314 千円	314 千円						341 千円						千円
	費		Ī	計(A)						314 千円							341 千円						千円
	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	1		_{職員工数·経費}						0.083 人					0.083	人						人	
	人件 (B		止噸	貝丄釵.	経負 一					573 千円	3					573	千円					0 -	千円
		臨臨		時職員工数·経費				人		0 千円				人			千円		人				千円
	全体事業		費(A+E	3)					887 千円						914	千円					0	千円	

			チェック項目		<u> </u>	欠評価	一次評価の記	说明	二次	:評価		
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。	0 1	はい	● いいえ	地方分権による事務 が行われている現状/	こおいて、	○ はい	● いいえ		
	1X	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。	0 1	はい	● いいえ	事務の停滞、住民サービスの低 下にならないよう配慮のうえ、職		○ はい	● いいえ		
		3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0 1	はい	● いいえ	員に様々な研修参加	の機会を与	○ はい	● いいえ		
		4.	住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較して ニーズを上回るサービスとなっている。	0 1	はい	● いいえ	え、資質の向上に努め)ます。 	○ はい	● いいえ		
	有効性	1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0 1	はい	● いいえ	愛知県自治研修所及 区市町村研修協議会		○ はい	● いいえ		
		2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0 1	はい	● いいえ	階層別研修、専門研修	多等に積極	○ はい	● いいえ		
CHECK		3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0 1	はい	● いいえ	的に参加します。またよる一般研修の充実を		○ はい	● いいえ		
		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0 1	はい	● いいえ			○ はい	● いいえ		
	達成度	1.	目標設定に対して進捗状況が劣っている。	0 1	目標に	比べて劣っている	職場研修、自己啓発の構 し、職員の資質向上を図	○ 目標に比べて劣っている				
		2.	目標設定に対して成果があまり上がっていない。	O 8	あまり上	がっていない	平成30年度は、新行政 度に係る研修等を市主係	下服審査制	○ あまり上た	○ あまり上がっていない		
		3.	目標設定に対して概ね目標を達成している。	● #	既ね達』	成している	し、自治研修所等の各種 も多数の職員が受講しま	専門研修に	● 概ね達成	か 概ね達成している		
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成している。	0 -	十分達	成している	(U)夕奴の城長が文語しる	○ 十分達成している				
		1.	効果に比べてコストが高い。	0 1	はい	● いいえ	職員の資質等をさらにるため、各種研修への	O はい	๋ เหล้			
		2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0 1	はい	● いいえ	参加を促します。	○ はい	● いいえ			
		3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0 1	はい ・ いいえ			○ はい	● いいえ			
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0 1	はい	● いいえ			○ はい	● いいえ		
			一次評価		二次評価							
	評估	而占	必要性 有効性 達成度 効率性 総合詞	価			有効性 達成度	効率	生 総	:合評価		
				~ hh		4	4 3	4	* • • •	A A		
		多の	● 拡大·充実 ○ 現状維持 ○ 方法改善 ○ 民間委託	t寺 ———	_	4 拡大・充実		方法改善		司委託等 		
	方向	刊生	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止		С		統合/終期設定 C 次評価での指摘事					
ACT-O		面の	通常の業務が忙しく研修を受ける時間がないことも現実であり、職員とし 知識を修得するため、場合によっては指名のうえ職場外研修を受講させ が、今後は職場研修の拡充や自己啓発の推進が必要と考えます。		今要な							
N	ont:	めの	研修に参加し、必要な知識の修得を図るように職員に啓発しておりますが くの職員が参加できるよう本人の希望及び所属長の推薦等を取り入れた 構築します。また、職場研修や自己啓発のあり方を研究します。		多	いく必要があります。						
	備	考										